



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月1日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL http://www.makino.co.jp/
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	144,478	18.7	14,476	90.6	15,407	76.7	11,987	103.2
30年3月期第3四半期	121,691	21.5	7,595	95.4	8,720	113.8	5,900	86.0

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 5,907百万円(△51.6%) 30年3月期第3四半期 12,194百万円(108.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	485.48	—
30年3月期第3四半期	265.02	235.04

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	264,231	153,930	57.9
30年3月期	268,382	152,519	56.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 153,113百万円 30年3月期 151,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
31年3月期	—	9.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	45.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	4.7	17,600	17.2	18,300	16.2	14,900	27.4	604.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	24,893,841株	30年3月期	24,893,841株
31年3月期3Q	449,782株	30年3月期	1,996株
31年3月期3Q	24,692,498株	30年3月期3Q	22,265,782株

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,444億78百万円(前年同期比18.7%増)、営業利益144億76百万円、経常利益154億7百万円、純利益119億87百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結受注は1,613億50百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

第3四半期の連結受注は474億42百万円となりました。前年同期比は15.3%減となり、上期までの増加傾向から減少に転じました。前年同期に高水準であった中国とアメリカ向けの減少が主な理由です。

米中の貿易摩擦により、受注の先行きが不透明であり、第4四半期は、第3四半期に比べて軟調に推移する見込みです。

第3四半期における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については9ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

当セグメントのうち、牧野フライス製作所の国内受注は前年同期を上回りました。自動車と、半導体製造装置など一般機械の部品加工向けが堅調に推移しました。

第4四半期は、前年同期比でロボットと半導体製造装置の部品加工向けが減少し、自動車と一般機械向けは堅調に推移する見込みです。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアは前年同期を下回りました。

中国では、前年同期に好調であったスマートフォンの金型向け、半導体製造装置など一般機械の部品加工向けが減少したことで、下回りました。自動車の金型向け、部品加工向けについては、堅調を維持しています。

インドでは自動車の部品加工向けで一時的に決定が先送りとなった案件があり、減少しました。

第4四半期は、自動車向けの受注が各地域で継続し、前年同期を上回る見込みです。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

北米は前年同期を下回りました。

自動車の部品加工向けは継続しました。半導体製造装置、医療の部品加工向けは減少しました。航空機向けは、下期に予定していた案件を第2四半期に前倒しで受注したことの反動減がありました。

第4四半期は、米中の貿易摩擦による顧客への影響を踏まえ、前年同期を下回る見込みです。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

欧州は、まとまった受注のあった自動車と一般機械の部品加工向けが減少し、前年同期を下回りました。

第4四半期は前年同期を上回る見込みです。部品加工向けを中心に受注が継続すると見えています。上期に止まっていた航空機向けの案件が動き始めており、この受注獲得に努めます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ41億50百万円減少し、2,642億31百万円となりました。主な増減としては、棚卸資産105億17百万円の増加、投資有価証券90億81百万円の減少、受取手形及び売掛金52億92百万円の減少などが挙げられます。

負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金92億76百万円の減少、社債50億円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ55億60百万円減少し、1,103億1百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金94億97百万円の増加、その他有価証券評価差額金64億9百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ14億10百万円増加し、1,539億30百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、前回公表値（平成30年7月31日公表）を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,175	47,882
受取手形及び売掛金	51,134	45,842
有価証券	38	37
商品及び製品	16,656	21,690
仕掛品	14,822	15,567
原材料及び貯蔵品	27,633	32,372
その他	7,492	6,397
貸倒引当金	△757	△676
流動資産合計	167,196	169,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,740	31,490
機械装置及び運搬具（純額）	6,400	7,685
工具、器具及び備品（純額）	4,171	5,337
土地	17,769	17,748
リース資産（純額）	1,031	968
建設仮勘定	3,742	2,612
有形固定資産合計	63,855	65,843
無形固定資産		
その他	3,550	3,805
無形固定資産合計	3,550	3,805
投資その他の資産		
投資有価証券	27,544	18,463
長期貸付金	366	592
繰延税金資産	3,392	3,683
退職給付に係る資産	201	191
その他	2,663	2,900
貸倒引当金	△388	△362
投資その他の資産合計	33,779	25,469
固定資産合計	101,185	95,118
資産合計	268,382	264,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,849	15,142
電子記録債務	19,613	19,530
短期借入金	1,196	4,111
1年内返済予定の長期借入金	11,256	1,980
リース債務	249	226
未払法人税等	3,085	2,721
その他	26,188	25,401
流動負債合計	77,438	69,112
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	20,687	21,575
リース債務	975	905
繰延税金負債	6,217	3,668
役員退職慰労引当金	89	96
退職給付に係る負債	4,250	3,748
その他	1,202	1,195
固定負債合計	38,423	41,188
負債合計	115,862	110,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,070
利益剰余金	81,292	90,789
自己株式	△6	△2,009
株主資本合計	139,499	146,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,583	9,173
為替換算調整勘定	△616	△410
退職給付に係る調整累計額	△2,743	△2,642
その他の包括利益累計額合計	12,224	6,120
非支配株主持分	796	816
純資産合計	152,519	153,930
負債純資産合計	268,382	264,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	121,691	144,478
売上原価	84,402	98,195
売上総利益	37,288	46,283
販売費及び一般管理費	29,693	31,806
営業利益	7,595	14,476
営業外収益		
受取利息及び配当金	607	990
受取賃貸料	177	195
為替差益	315	-
その他	334	236
営業外収益合計	1,435	1,422
営業外費用		
支払利息	249	241
為替差損	-	87
その他	60	161
営業外費用合計	310	490
経常利益	8,720	15,407
特別利益		
固定資産売却益	35	164
投資有価証券売却益	41	246
特別利益合計	77	411
特別損失		
固定資産除却損	8	35
特別損失合計	8	35
税金等調整前四半期純利益	8,789	15,782
法人税等	2,863	3,769
四半期純利益	5,926	12,012
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,900	11,987

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	5,926	12,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,708	△6,412
為替換算調整勘定	2,269	205
退職給付に係る調整額	291	100
その他の包括利益合計	6,268	△6,105
四半期包括利益	12,194	5,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,166	5,884
非支配株主に係る四半期包括利益	28	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年6月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得のための市場買付を実施いたしました。なお当該自己株式の取得は、平成30年6月19日(約定ベース)までの買付をもって、終了しております。

1. 取得した株式の種類： 普通株式
2. 取得した株式の数： 219,400株
3. 株式取得価額の総額： 999百万円
4. 自己株式取得の期間： 平成30年6月11日～平成30年6月19日(約定ベース)
5. 取得方法： 東京証券取引所における市場買付

(注) 当社は平成30年10月1日付で5株につき1株の割合で株式併合を実施しており、上記は株式併合後の株式数で表記しております。

当社は、平成30年10月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得のための市場買付を実施いたしました。なお当該自己株式の取得は、平成30年11月22日(約定ベース)までの買付をもって、終了しております。

1. 取得した株式の種類： 普通株式
2. 取得した株式の数： 227,500株
3. 株式取得価額の総額： 999百万円
4. 自己株式取得の期間： 平成30年11月1日～平成30年11月22日(約定ベース)
5. 取得方法： 東京証券取引所における市場買付

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)

一部の在外連結子会社において「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)を第1四半期連結会計期間より適用しております。この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェー、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ)が担当するセグメントであり、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH (ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェーを除く)のすべての国です。

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	Ⅰ (百万円)	Ⅱ (百万円)	Ⅲ (百万円)	Ⅳ (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	35,899	37,406	36,607	11,777	121,691
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,798	7,415	468	30	51,713
計	79,698	44,822	37,076	11,808	173,405
セグメント利益 又は損失(△)	4,012	3,949	1,140	△389	8,712

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	8,712
未実現利益の消去他	△1,117
四半期連結損益計算書の営業利益	7,595

II 当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	46,816	44,867	40,191	12,603	144,478
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,625	7,343	273	58	60,300
計	99,441	52,211	40,464	12,661	204,779
セグメント利益 又は損失(△)	10,467	4,761	1,253	△596	15,886

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	15,886
未実現利益の消去他	△1,410
四半期連結損益計算書の営業利益	14,476

3. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 自 平成30年 4月 1日 至 平成30年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	49,771	30.8	+8.0
II	51,140	31.7	+7.5
III	45,923	28.5	+2.6
IV	14,515	9.0	△4.6
合計	161,350	100.0	+5.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間末 平成30年12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	29,691	36.0	+5.2
II	17,137	20.8	△10.1
III	22,224	26.9	△1.2
IV	13,411	16.3	+18.3
合計	82,465	100.0	+1.6

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 自 平成30年 4月 1日 至 平成30年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	46,816	32.4	+30.4
II	44,867	31.1	+19.9
III	40,191	27.8	+9.8
IV	12,603	8.7	+7.0
合計	144,478	100.0	+18.7

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。